



TOCO-TON 明科

No. 51 R7. 12. 23 発行
TOCO-TON 指導主事

1 明科中生徒会・職員『学校づくり会議』 12月15日（月）



明科中学校では、来年度生徒会正副生徒会長が選出されました。校長・生徒会主任・来年度生徒会正副会長参加の下、第1回の懇談を行いました。校長からは、生徒と職員が一丸となって、これからの中学校づくりを進めていこうとの話がありました。

生徒のよさや課題と感じていること等を出し合い、よさを伸ばし課題を解決するために、夢物語（こんなことできるのかなと思うこと）でもよいので、目指す学校や生徒の姿実現に向け、対話を通し共に考えていくことを確認し合いました。来年度に向けたこの会は、今後も継続していきます。

2 明科小中三校職員『子どもの姿から 自らをそして学校全体を振り返る』



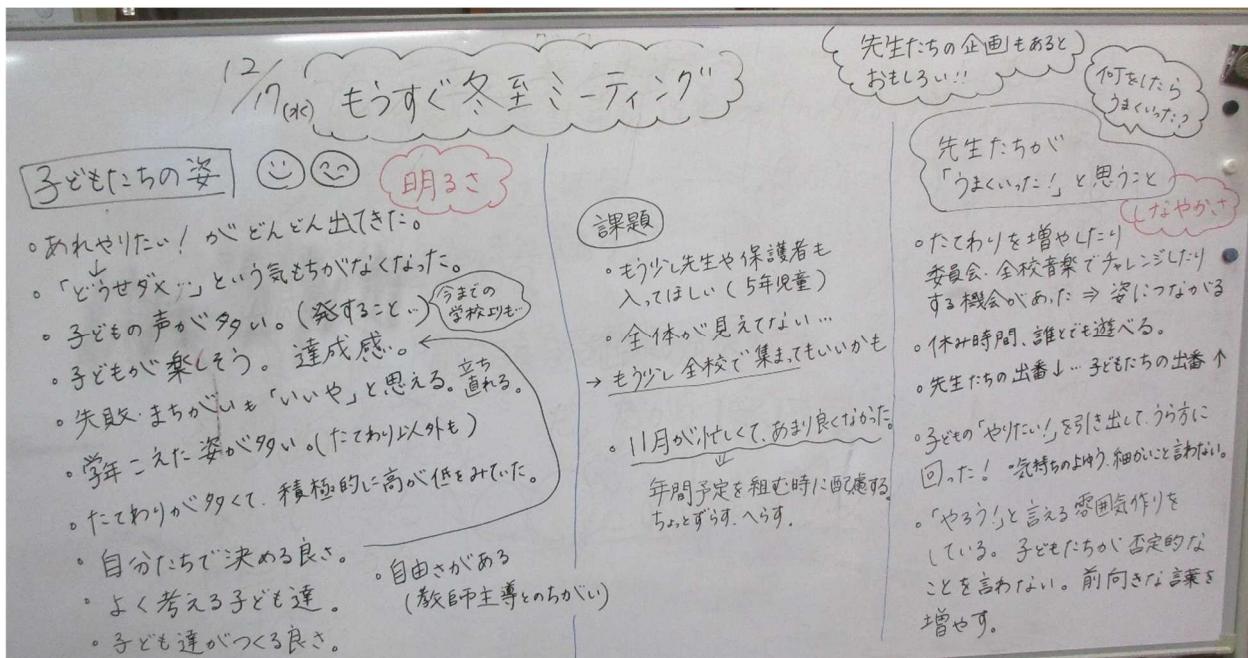
職員は、これまでの取組から、子どもたちの姿を見返し、職員自らの指導・支援や学校体制について振り返る機会を適宜設定しています。TOCO-TONの取組に向けて、「子どもに委ねるとは」「子どもを真ん中にしてとは」などについても、具体的な場面で語られることが多くなっています。



明北小職員 12月17日

明南小職員 12月9日

＜明北小職員『もうすぐ冬至ミーティング』板書から＞



3 明南小1年生活科『明科南認定こども園からの招待で交流会』12月15日(月)

11月に、明南小1年生が、南園の年長さんを小学校に招待して交流会が行われました。「自分たちもおまつりをして、1年生に来てもらいたい！」と願った年長さんは、園でのおまつりを計画し、1年生を招待してくれました。1年担任が、そのことを子どもたちに伝えると、「行く～！！」と即答。1年生が南園に行っての交流が実現しました。



挨拶と体操をした後、最初に、園庭で思い思いに遊びました。3歳児以上の園児みんなと、雲てい・おままごと・ドッジボール等々、自分がやりたいことを楽しみました。昨年度まで園児だった1年生は、遊び方や約束も分かっていて、久しぶりの遊び場で気持ちもワクワク、園児と一緒に思う存分楽しんでいました。お兄さん、お姉さんらしく気遣う姿もありました。

次は、年長さんと1年生との交流です。遊戯室に入り、ジャンケン列車を楽しみました。列車が全部つながった後「あわてんぼうのサンタクロース」や、1年生が卒園式で歌った「こころのねっこ」などを一緒に歌いました。



次は、いよいよ年長さんが準備してくれた『おまつり』の場です。1年生は「おすもう」と「わなげ」のチケットを受け取り、楽しんだあとは、素敵な手作り景品をもらいました。「わなげ」と、景品の「たこやき」は、1年生が企画した交流会にもありました。楽しかったり、嬉しかったりした体験が、年長さんの考えるおまつりにもつながっていることを感じました。



最後、1年生が年長さんに、ストローや紙コップで使ったおもちゃをプレゼントして、一緒に楽しみました。子どもの感想にもありましたが「また行きたいな。また来てね。」と、次につながる交流会になりました。